

年末年始の火災予防運動について

12月20日(月)から令和4年1月10日(月)までの22日間において年末・年始火災予防運動が実施されます。

冬を迎えるにあたり、暖房機器などを長期間使用する時季となり死傷者を伴う火災が多発する傾向にあることから、防火意識を高め火災の発生に十分注意し、楽しい年末年始を過ごしましょう。

●詳細 芦別消防署保安係 ☎22-3106



★市長だより★

53



道内における新型コロナウイルスの新規感染者数は落ち着いてきた状態が続いておりませんが、気温の低下によつて換気が難しい時期からも、基本的な感染対策をしつかり行い、リスクが高い場所ではさらに留意いただきながら感染再拡大の防止に引き続き市民皆様のご協力をお願いいたします。

本格的な冬を控え、原油価格の高騰により灯油価格の高値が続く中、特に低所得者層への影響は大きいことから、市では8年ぶりとなる冬季生活支援事業を実施し、市民税非課税世帯(2300世帯)を対象に、1世帯1万円の地域限定商品券の交付による生活支援を行うため、先月26日に開かれた臨時市議会で関連予算の議決がされたのを受け、早期交付に準備を進めてまいります。

先月17日・18日の2日間上京し、北海道石炭対策連絡会議(代表世話人・北海道知事)による中央特別要請活動に空知炭鉱市町活性化推進協議会を代表し、石炭産業の存続と産炭地域の活性化、石炭の地下ガス化等エネルギーの地産地消への取り組みに対する国の支援等を求め、経済産業副大臣をはじめ関係国会議員等

へ、また、北海道市長会による秋季中央要請活動に参加し、道内選出国會議員へ「地方税財源の充実・確保」や「地域医療の確保」、「北海道観光の振興」や「農林水産業の振興」、「防災・減災、老朽化対策の強化」等について要請を行うとともに、別途独自に、「国道452号の整備促進」や「市庁舎整備に係る新たな地方債制度の創設」、「公立病院への財政措置の強化」などについて国土交通省、総務省の担当部局に要望してまいりました。

また、本市のまちづくりに対し多額の寄付(ふるさと納税)を賜りましたNONOの創業者でスタートトゥデイ社長の前澤友作氏(東京)



10月25日に、JR北海道ツアー参加の皆さんに芦別駅停車の際、ホームにて芦別獅子舞をご覧いただくなど、心からの歓迎と別々のPRをさせていただきます。

に対し、令和3年度芦別市善行者表彰贈呈のため会社を訪問し、ご本人は12月にロシアの宇宙船ソユーズで国際宇宙ステーションに向かう乗組員として現在ロシアで訓練を受けられており、不在のため代理の方にお渡しさせていただき、心からの謝意と前澤氏の宇宙への旅のご安全をお祈り申し上げます。

日本遺産「炭鉄港」をめぐる旅のツアーで、「炭鉄港」の礎となつた薩摩藩のおひざ元である鹿児島県より9人の皆様と泊3日のコースで先月19日に来道され、同日本市にお越しになり、スタライトホテルに宿泊、翌日には市内の炭山川橋梁などを巡られ赤平、美唄、小樽を経由し、室蘭に向かわれる日程から、地元市長として、また北海道並びに13の市町と関係団体で構成する炭鉄港推進協議会を代表し、心からの歓迎の意と、このご縁を大切にさせていただきますとともに、思い出多き素晴らしい旅巡りとなりますことを念じて、歓迎のご挨拶をさせていただきます。

今年も余すところ1か月を切りましたが、コロナ対策に加え市民皆様にはインフルエンザや風邪の予防など健康管理に十分ご留意いただき、ご健勝で新年をお迎えください。

芦別市長 荻原 貢